

Plone を 30分でインストールできるのかしら？



Plone についての説明はちょっとしかしません

<< 2004年 9月 >>						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

- なぜこんなことをやるのか？
 - いろんな環境がありますが、インストールするだけで苦労したことないですか？
- Fedora Core 1 が適当？ にインストールされている
 - そこから30分でPlone を立ち上げます
- 前提としては、gccなど、普通に必須のもの他に
 - Apache
 - MySQL

は、すでにインストールされているものとします。

はたして、できるのか？

なぜ、Fedora Core 1 なのか



<< 2004年 9月 >>						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3 4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

他にもOS は一杯ありますが、なぜ、Fedora Core 1 なのでしょう

- Google でひっかかりやすい(RedHat もキーとして活用)
 - はまったときにはとっても重要
- 入手が容易
 - 雑誌付録、ネットワーク経由など
- 安定版である
 - 個人的見解ですが、ある意味、RedHat 9.1 と言えます
- 企業ユーザにもPlone を使ってもらいたい
 - 日本で、大手SIの案件では RedHat が圧倒的に使われてます

インストールの方針



<< 2004年 9月 >>						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

今回は単一フォルダ以下にPython / Zope を全てインストールします

- /home/zope をホームとする zope ユーザを作成
 - Zope は一般ユーザで起動する
 - /home/zope/src を作り、そこにtarball をみんな入れておく
 - Products もそこから ln -s する
- Zopeだけでなく、Python も /home/zope 以下へ展開
 - root 不要の /home/zope/bin/python setup.py install が可能
 - 既存のpython 環境にも影響がない
- Apache、MySQLは対象外
 - 今回は既存のものを使用
 - port 80 を捕まえるなど、/bin/su がどちらにしる必須である
- この方式だと、Python/Zope一式が1フォルダ以下に入るので、Python3 に依存する Zope3.2 とかが出たときもマイグレーションが楽(な、予定)
 - httpd.conf の書換えでサイト切りかえが可能

インストール

実際のインストールの概要です

```
$ tar xzf Python-2.3.4.tgz
  $ tar xzf pykf-0.3.4.tgz
  $ tar xzf MySQL-python-1.0.0.tar.gz
  $ tar xzf JapaneseCodecs-1.4.10.tar.gz

$ tar xzf Zope-2.7.2-0.tgz
  $ tar xzf jaMailHost-0.3.1.tar.gz
  $ tar xzf Plone-2.0.4.tgz
  $ tar xzf ZMySQLDA-2.0.8.tgz
  $ tar xzf ZWiki-japanese-0.29.tgz
  $ runzope
```



<< 2004年 9月 >>						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

設定



<< 2004年 9月 >>						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

Linux 側での設定です

- MySQLにdb, user を作る
 - create database webdb;
 - grant all on webdb.* to webop@localhost identified by "himitsu";
 - flush privileges;
- Apache で Forwarding する
 - NameVirtualHost 192.168.100.100
 - <VirtualHost 192.168.100.100:80>
 - ServerName p.e.com
 - ServerAdmin wm@p.e.com
 - ProxyPass / http://localhost:9080/VirtualHostBase/http/p.e.com:80/plone/VirtualHostRoot/
 - ProxyPassReverse / http://localhost:9080/VirtualHostBase/http/p.e.com:80/plone/VirtualHostRoot/
 - ErrorLog /home/zope/logs/p_error_log
 - CustomLog /home/zope/logs/p_access_log combined
 - </VirtualHost>

ZMI での設定



<< 2004年 9月 >>						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

Zope に設定する項目です

- VirtualHostMonster
 - RootFolder に VirtualHostMonster を id:vhm で add する
- PloneSite
 - RootFolder に PloneSite を id:plone で add する
 - httpd.conf にそう書いてしまったので、idは「plone」でないとかまる(^.^;;
- Z MySQL DA
 - /plone/ 以下に Add する。id はデフォルトでかまわない
 - できたら、Test タブを押して
 - create table test (
 - myid int auto_increment not null primary key,
 - mystr varchar(255))
 - と、入力して、Browse タブをみると、test table ができている!!

デモとまとめ



<< 2004年 9月 >>						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

それでは実際に御覧ください。こんな感じです

- このような手順で、簡単に、Plone Site が作れます
 - Apache 受けと、MySQL接続のおまけつきです
 - まあ、開発はここからですけど、ここまでが意外と簡単でしょ？
- 御参考までに
 - シェルスクリプトなど
 - <http://plone.jp/dev/buildplone.tgz>(まだおいてないです)
 - とりあえずこれだけいれとけアーカイブ
 - <http://plone.jp/dev/buildplonefull.tgz>(まだおいてないです)
 - jackの悪戦苦闘の履歴と残骸
 - <http://ns.jk.to/>